かりそめなるよそ瀬川の高うみくだすよあれば今も
ゐるとばかりぞ思ふと侍くらむとかよりくらべる
のゝ水無瀬ハ山城國の名所也巳ノ句墻本よあどをきる
鶯花とそつゝか出たるうゝ風あれをるゆ慶のうゝあ
古註よ此哥可尋知といへど是も同しく舟鶯の歌ゆて三句
のとそつゝか鶯の縁語ゆくこの哥ハそうをあよのせく
出るよ海上沖の方をくハ出るゆ今を人へも漕よるれゆ
り風吹バむかふすもうくて風のまなぐれむとそく汀の
方をぞうゝむるもとゆる歌也須慶を前ゆそう古寫
本ゆそ三ノ句ゆそ明ゆいて誤よつゆ風あ家